

グリーン書
電力証電

京都市内で独自販売

市・経済界の任意団体

京都市や地元経済界などが組織する任意団体「京（みやこ）のアッシュタ21フォーラム」は二十三日、太陽光発電などで発生したグリーン電力について独自作製した証書を市内の事業者などに販売すると発表した。購入した事業者は環境保全に貢献している姿勢をアピールできる。今年度は合計四万八千キロワット分を販売する予定だ。

特定非営利活動法人（NPO法人）のきょうとグリーンファンドが保育園など市内八カ所で設置を手がけてきた太陽光発電施設からグリーン電

力の権利を取得。事業者は一キロワット当たり十円、一千一キロワット相当の証書購入が可能で、専用のロゴを自社の広告やカタログなどに使用できる。

既にタクシー会社や旅行会社など数社から引き合いがあるという。証書の売り上げはきょうとグリーンファンドが運営す

る基金に寄付し、新たな太陽光発電施設の設置費用として活用する。

アッシュタ21は中小企業でも取得しやすい独自の環境規格「KES（京都・環境マネジメントシステム・スタンダード）」を策定するなど環境への取り組みを活発に展開している。